

▼神奈川宣言ネットワーク ニュースレター (Vol.10) ▲

<http://www.kanagawadeclaration.jp>

————— > > > > 持続可能な都市のための 20%クラブ

2007.11.16.発行

-----  
神奈川宣言ネットワークは、環境への取り組みに関するさまざまな情報交換を通じて、主に地方自治体や NGO 等による環境配慮活動を促進することを目標に、神奈川県と持続可能な都市のための 20%クラブ（事務局：地球・人間環境フォーラム内）が協力して進めるものです。神奈川宣言に賛同した自治体、20%クラブ会員自治体およびワークショップ参加自治体等へお送りしています。

-----  
□■□■□■□

目 次

■□■□■□■

- .....
1. 市民とともにつくる環境マネジメントシステム（兵庫県伊丹市）
  2. 市民参加で取り組む小水力発電（山梨県都留市）
  3. 学校施設における環境教育促進事業（愛媛県松山市）
  4. 白川郷におけるエコツーリズムの取り組み（岐阜県白川村）
  5. 市民一人ひとりが取り組む温暖化防止活動  
～「エコライフ DAY」の取り組み（埼玉県川口市）
- .....

1. 市民とともにつくる環境マネジメントシステム（兵庫県伊丹市）

伊丹市は、兵庫県南東部に位置し、市の東部には大阪国際空港（伊丹空港）を擁し、神戸市から約 20km、大阪市から約 10km と関西都市圏へのアクセスも良い。

2000 年前後から、全国的に地方自治体の ISO14001 認証取得が盛んになったが、伊丹市ではその間、「伊丹市環境基本条例」の制定や「伊丹市地球温暖化対策推進実行計画」「伊丹市環境基本計画」の策定を行い、環境政策の基盤整備を進めたが、環境マネジメントシステム（EMS：Environmental Management

System) の導入には至っていなかった。

市では、さまざまな選択肢を視野に入れつつ、システム導入について検討した結果、「環境自治体スタンダード (LAS-E : Local Authority 's Standard in Environment)」をベースとした独自の EMS の運用を 2006 年 8 月から開始した。

取り組みに関する詳細はこちら

→<http://www.kanagawadeclaration.jp/Itami.htm>

## 2 . 市民参加で取り組む小水力発電 (山梨県都留市)

都留市は、山梨県東部に位置する人口 3 万 4,000 人ほどの市で、21 世紀の超高速交通システムとして実用化が期待されているリニアモーターカーの実験線の拠点基地があることでも知られている。市の中心市街地を流れる家中川は、江戸時代に田畑の灌漑のため、また、城下町の生活用水確保のため開削されたもので、かつて多くの水車が設置され、精米・製粉、織機の動力として活用されてきた。

2003 年 2 月、化石燃料の大量消費により引き起こされる地球環境問題に対応するため、市は「都留市地域新エネルギービジョン」を策定、この中で利用可能なクリーンエネルギーとして、小河川を活用したマイクロ水力発電を位置づけた。2004 年、市制 50 周年記念事業として直径 6m の木製下掛け水車による発電設備を、市役所庁舎前を流れる家中川に設置した。

取り組みに関する詳細はこちら

→<http://www.kanagawadeclaration.jp/Tsuru.htm>

## 3 . 学校施設における環境教育促進事業 (愛媛県松山市)

愛媛県のほぼ中央に位置する松山市は、瀬戸内海の温暖な気候に恵まれた人口 51.5 万人の地方都市である。2003 年、小学校教諭からなる「総合学習における環境問題導入検討委員会」から事業提案を受け、2004 年から「エコリンピック開催事業」がスタートした。

これは、それぞれの家庭で省エネ活動を行えば、光熱水費の節約というメリットがあるように、学校で節約しても何らかのメリットが発生するよう、市が学校に対し節約分を還元するシステムを導入することをねらったもので、市立の小・中学校で電気使用量の削減に取り組み、削減できた学校には、削減した高熱水費に相当する金額の4割を消耗品費として学校に還元するしくみとなっている。

取り組みに関する詳細はこちら

→<http://www.kanagawadeclaration.jp/Matsuyama.htm>

#### 4. 白川郷におけるエコツーリズムの取り組み（岐阜県白川村）

白川郷は、岐阜県北西部に位置する人口2,000人ほどの小さな農山村集落で、面積の95%を山林が占め、日本海に向かって村の中心を南北に流れる庄川沿いに集落が点在している。かつては、交通の便が悪く、冬になると積雪は2mを超え、道路が閉ざされたことから、「陸の孤島」「秘境」などと呼ばれる一方、こうした厳しい環境が「合掌造り」という伝統的かつ合理的な建築物を生み出した。

95年の世界文化遺産登録を機に、それまで年間約70万人だった観光客は急増し、今日では年間140万人を超えるようになった。村では観光客の増加に伴い、エコ・グリーンツーリズムの概念に基づき、滞在客やリピーターの増加、世界遺産集落内の交通コントロール・電線類の地下埋設、農地復元による農村集落景観の保全、観光ガイド制度の充実等、さまざまな取り組みを進めている。

取り組みに関する詳細はこちら

→<http://www.kanagawadeclaration.jp/Shirakawa.htm>

#### 5. 市民一人ひとりが取り組む温暖化防止活動

～「エコライフDAY」の取り組み（埼玉県川口市）

埼玉県の南端に位置する川口市は、荒川を隔てて東京都に接する人口50万人の都市である。江戸時代に鋳物や植木などの産業が発達したが、その後は首都

圏のベッドタウンとして都市化が進んできた。

2007年3月に「地球温暖化対策地域推進計画」を策定した同市では、温室効果ガスの排出抑制に向け、市民・事業者・行政の各主体がそれぞれの役割に応じて、総合的かつ計画的に取り組みを進めていくことを目指している。

とくに重点的に推進すべき取り組みの一つであるエコライフ DAY 事業は川口市が公募したミレニアム事業の一つとして NPO 法人・川口市民環境会議の提案により地球温暖化防止を目的にスタートした事業である。日常生活における二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）の削減に市民一人ひとりが取り組むものである。

取り組みに関する詳細はこちら

→<http://www.kanagawadeclaration.jp/Kawaguchi.htm>

---

【20%クラブでは、会員自治体の取り組み情報・新規会員を募集しています】

会員自治体の方へ：新しい環境への取り組み情報をお寄せ下さい  
会員自治体さんからの新しい取り組みに関する情報をお待ちしています。  
ユニークな取り組みについては、今後ニュースレター等で紹介させていただきます。

加入自治体を募集しています

20%クラブは、積極的な環境施策に取り組む国内 41 自治体、海外 26 自治体が加入する、国際的なネットワーク組織です。情報交換を今後より一層進めるため、積極的な環境施策を進める都道府県・市町村の新規加入をお待ちしています（20%クラブの設立経緯、活動内容、会員サービス内容等に関しては下記 HP ご参照下さい）。

20%クラブとは？

<http://www.shonan-inet.or.jp/~gef20/J/20introj.htm>

20%クラブ会員自治体リスト

<http://www.shonan-inet.or.jp/~gef20/J/memberlistj.htm>

---

掲載内容の印刷、ウェブ上での複製・転載等をご相談下さい  
（お知り合いや ML へのメールでの転送は歓迎です）  
内容に関するご意見・ご質問は下記事務局まで。

編集・発行 / 持続可能な都市のための 20%クラブ事務局

（財）地球・人間環境フォーラム内

〒113-0033 東京都文京区本郷 3 - 43 - 16 成田ビル 3 階

TEL:03-3813-9735 FAX:03-3813-9737

E-mail:amano@gef.or.jp

【20%クラブ】URL:<http://www.gef.or.jp/20club/J/20frontjfr.htm>

【神奈川宣言ネットワーク】URL:<http://www.kanagawadeclaration.jp/>